

茨城県衛生研究所
令和 7 年度評価書

令和 8 年 9 月
茨城県衛生研究所
評価委員会

【様式6】

機関評価に係る評価書

令和 7 年 9 月 11 日

衛生研究所長 殿

茨城県衛生研究所評価委員会
委員長 木村 博一

(押印又は自署)

□総合評価

評価: AA(3.8)	調査研究、試験検査、広報、人材育成など多くの業務に積極的に取り組んでいた点は、着実に計画を遂行しており高く評価できる。
調査研究、試験検査、広報、人材育成など多くの業務に積極的に取り組んでいた点は、着実に計画を遂行しており高く評価できる。特にダニ媒介性感染症をはじめ、調査研究では成果をあげている。また、感染症情報センターは、専門機関、関係施設への情報伝達・共有、県民への広報と注意喚起の役割を果たしている。 一方で、今後は受講者の満足度を含めた一般県民に対するニーズの把握が必要ではないかと考える。 また、突然の人事異動による調査研究の中断、中止が生じる事態は極めて遺憾であり、試験検査の客観性の確保ならびに円滑な業務遂行に支障を及ぼさないような人事配置・異動について、検討する余地がある。それと並行して、人事異動があっても研究力を維持しつつ、組織を回してレベルアップしていけるような、中長期的な視点に立った研究内容や体制構築も検討していくことが望まれる。	

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究

評価: AA

食中毒や感染症の早期診断・治療や予防を目指した調査研究が精力的に進められている。特にダニ媒介感染症関連の調査研究は、大きな成果を上げている。
しかし、人事異動により継続中の研究が中断あるいは中止になる事態は、研究機関として多大な損失である。所内でも研究体制をチーム制にするなどの、研究の継続性を担保する工夫・対応が必要である。

2) 試験検査

評価: AA

県民の健康危機管理に寄与する試験検査を正確かつ迅速に実施しており、保健衛生行政への貢献度が高い。本県の健康危機管理において大きな役割を果たしていることは大いに評価できる。

3) 研究成果等の活用促進

評価: AA

調査研究成果を学会誌や専門誌へ積極的に発信しており、評価できる。医療現場等でその成果が活用されている事も大いに評価できる。

4) 広報・情報発信・普及啓発

評価: AA

情報発信に力を入れていることは十分評価できる。今後は、どのように情報を届けるか検討し、情報発信の方法について工夫していく必要がある。

5) 外部人材育成、教育活動

評価: AA

次世代の公衆衛生を担う県内外の医療系大学・獣医学系大学の学生等へのインターンシップをはじめ、医療従事者、高齢者施設への研修など積極的に実施しており、保健衛生及び健康危機対応の科学的かつ技術的中核機関としての役割を果たしている。

ii)業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1)全体マネジメント

評価： A

健康危機対応計画に基づく実践型訓練を実施したほか、医薬品PIC/S、食品GLP、感染症法に係る検査体制整備や検査機器の整備を進め、検査の信頼性確保や品質保証体制の整備を着実に実行している。また、業務の進捗状況を管理・共有するなど適切にマネジメントされている。

引き続き、必要な人員体制の検討・整理を行い、重要業務が停滞しないよう適切な組織マネジメントに努めてもらいたい。

2)他機関との連携、調査研究費の獲得

評価： A

他機関との連携により研究の活性化を図り、研究成果の創出や行政課題の解決に取り組んでいる。近隣の衛生研究所で既に行われている技術導入を図るなど、連携を更に推進してほしい。また、外部資金の獲得・活用にも積極的に取り組んでいるが、地域に貢献できる質の高い調査研究事業の維持に向けて、所管課等と連携しながら、引き続き、研究所として必要な人員や予算の獲得に努めてほしい。

3)県民ニーズの把握

評価： AA

ネットモニター等のアンケートや関係機関との情報共有・意見交換により県民や現場のニーズを把握し、それを様々な活用に繋げ、的確に対応していることは評価できる。

関係機関との意見交換・連携に尽力されている一方で、県民のニーズ把握については、機会が限られていることから、i)4)県民に対する広報・情報発信・普及啓発の取組とセットで、ニーズを「拾い上げる」姿勢を期待したい。

4)内部人材育成

評価： AA

積極的な研修・交流機会の確保のほか、研究員の大学院博士課程への進学、On the job training、人事異動に対する正副業務体制などが充実している。

博士人材の育成・活用や高度な専門技術を有する人材の育成に引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

評価項目 (年度実施計画)		衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																																																															
		評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																																																														
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 調査研究 7 課題 ・茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究（特電課題） ・原因不明症例における次世代シーケンサーを用いたウイルスの網羅的解析（特電課題） ・茨城県におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明（特電課題） ・茨城県における腸管出血性大腸菌の分子疫学解析に関する研究 ・オズウイルス感染症の血清疫学調査に関する試験研究 ・茨城県における伴侶動物の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス感染状況調査 ・健康危機管理体制強化のための植物性自然毒検査法の構築 ○取り組み状況 ・完了：2 課題 ・新規：2 課題（令和 7 年度事前評価実施） ・継続：3 課題（進捗：実施計画通り） ○調査研究課題の妥当性及び課題採択の経緯における透明性を確保するため、茨城県衛生研究所研究課題承認審査実施要領を定め、茨城県衛生研究所課題承認委員会を設置した。 ○突然の人事異動に備え、試験検査だけでなく調査研究においても副担当を配置し、研究を継続できる体制を構築した。 ○県内医療機関や主管課の要望により令和 8 年度より開始予定の調査研究 3 課題について、計画策定（見直し含む）や関係機関との調整など準備を行った。	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																																																																																																														
	2) 試験検査	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 ○監視指導計画等に基づく計画検査及び突発的な行政依頼検査について、正確かつ迅速に検査を実施し、検査結果を提供した。特に、麻しんにおいて、アウトブレイク事例を含め、随時迅速な試験検査を実施した。（242 件） 試験検査の内容 ○ 計画検査 ・茨城県食品衛生監視指導計画 ・県内流通医薬品試験検査実施要領 ・家庭用品試買試験検査実施要領 ・病原性微生物等実態調査要領 等 <table><thead><tr><th>試験項目</th><th>件数 (R7 年度実績)</th><th>衛生研究所 担当部</th></tr></thead><tbody><tr><td>食肉の試験検査</td><td>54</td><td>細菌部</td></tr><tr><td rowspan="2">農産物漬物の試験検査</td><td>22</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>23</td><td>理化学部</td></tr><tr><td rowspan="2">輸入食品の試験検査</td><td>111</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>144</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査</td><td>180</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>認定小規模食鳥処理場微生物検査</td><td>112</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>水道水質調査事業に伴う試験検査</td><td>2</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>感染症流行予測調査事業に伴う試験検査</td><td>389</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>蚊の生息状況調査</td><td>実施回数 6 回</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>二枚貝中のノロウイルスの試験検査</td><td>3</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>県内流通医薬品等の試験検査</td><td>45</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>後発医薬品の試験検査</td><td>5</td><td>理化学部</td></tr><tr><td rowspan="2">医療機器の試験検査</td><td>2</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>2</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>無承認無許可医薬品の試験検査</td><td>36</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>家庭用品の試買試験検査</td><td>90</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>指定薬物等の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>食品の残留農薬試験検査</td><td>63</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>遺伝子組換え食品の試験検査</td><td>9</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>加工食品の放射性物質試験検査</td><td>27</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>イノシシ肉の放射性物質検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr><tr><td>水道水の放射性物質試験検査</td><td>56</td><td>理化学部</td></tr></tbody></table> ○ 行政依頼検査 ・茨城県感染症発生動向調査事業実施要項 ・茨城県結核予防計画 ・茨城県食中毒事故処理要領 等 <table><thead><tr><th>試験項目</th><th>件数 (R7 年度実績)</th><th>衛生研究所 担当部</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査</td><td>117</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>964</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td rowspan="2">感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査</td><td>0</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>922</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td rowspan="2">感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査</td><td>494</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>384</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td rowspan="2">感染症及び食中毒事例の分子疫学解析</td><td>39</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>911</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>結核対策予防事業に伴う試験検査</td><td>95</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>レジオネラ病防止に伴う試験検査</td><td>31</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>犬の狂犬病検査</td><td>3</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>化学物質に係る試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr><tr><td rowspan="3">食中毒及び苦情食品に伴う試験検査</td><td>528</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>358</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>3</td><td>理化学部</td></tr></tbody></table>	試験項目	件数 (R7 年度実績)	衛生研究所 担当部	食肉の試験検査	54	細菌部	農産物漬物の試験検査	22	細菌部	23	理化学部	輸入食品の試験検査	111	細菌部	144	理化学部	夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	180	細菌部	認定小規模食鳥処理場微生物検査	112	細菌部	水道水質調査事業に伴う試験検査	2	細菌部	感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	389	ウイルス部	蚊の生息状況調査	実施回数 6 回	ウイルス部	二枚貝中のノロウイルスの試験検査	3	ウイルス部	県内流通医薬品等の試験検査	45	理化学部	後発医薬品の試験検査	5	理化学部	医療機器の試験検査	2	細菌部	2	理化学部	無承認無許可医薬品の試験検査	36	理化学部	家庭用品の試買試験検査	90	理化学部	指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部	食品の残留農薬試験検査	63	理化学部	遺伝子組換え食品の試験検査	9	理化学部	加工食品の放射性物質試験検査	27	理化学部	イノシシ肉の放射性物質検査	依頼なし	理化学部	水道水の放射性物質試験検査	56	理化学部	試験項目	件数 (R7 年度実績)	衛生研究所 担当部	感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	117	細菌部	964	ウイルス部	感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	0	細菌部	922	ウイルス部	感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	494	細菌部	384	ウイルス部	感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	39	細菌部	911	ウイルス部	結核対策予防事業に伴う試験検査	95	細菌部	レジオネラ病防止に伴う試験検査	31	細菌部	犬の狂犬病検査	3	ウイルス部	化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部	食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	528	細菌部	358	ウイルス部	3	理化学部	A A
試験項目	件数 (R7 年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																	
食肉の試験検査	54	細菌部																																																																																																																	
農産物漬物の試験検査	22	細菌部																																																																																																																	
	23	理化学部																																																																																																																	
輸入食品の試験検査	111	細菌部																																																																																																																	
	144	理化学部																																																																																																																	
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	180	細菌部																																																																																																																	
認定小規模食鳥処理場微生物検査	112	細菌部																																																																																																																	
水道水質調査事業に伴う試験検査	2	細菌部																																																																																																																	
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	389	ウイルス部																																																																																																																	
蚊の生息状況調査	実施回数 6 回	ウイルス部																																																																																																																	
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	3	ウイルス部																																																																																																																	
県内流通医薬品等の試験検査	45	理化学部																																																																																																																	
後発医薬品の試験検査	5	理化学部																																																																																																																	
医療機器の試験検査	2	細菌部																																																																																																																	
	2	理化学部																																																																																																																	
無承認無許可医薬品の試験検査	36	理化学部																																																																																																																	
家庭用品の試買試験検査	90	理化学部																																																																																																																	
指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																	
食品の残留農薬試験検査	63	理化学部																																																																																																																	
遺伝子組換え食品の試験検査	9	理化学部																																																																																																																	
加工食品の放射性物質試験検査	27	理化学部																																																																																																																	
イノシシ肉の放射性物質検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																	
水道水の放射性物質試験検査	56	理化学部																																																																																																																	
試験項目	件数 (R7 年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																	
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	117	細菌部																																																																																																																	
	964	ウイルス部																																																																																																																	
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	0	細菌部																																																																																																																	
	922	ウイルス部																																																																																																																	
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	494	細菌部																																																																																																																	
	384	ウイルス部																																																																																																																	
感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	39	細菌部																																																																																																																	
	911	ウイルス部																																																																																																																	
結核対策予防事業に伴う試験検査	95	細菌部																																																																																																																	
レジオネラ病防止に伴う試験検査	31	細菌部																																																																																																																	
犬の狂犬病検査	3	ウイルス部																																																																																																																	
化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																	
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	528	細菌部																																																																																																																	
	358	ウイルス部																																																																																																																	
	3	理化学部																																																																																																																	

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																						
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																					
3) 研究成果等 の活用促進	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 ○当所研究員を筆頭著者とする論文が2本、共著者とする論文が2本学術誌に掲載された。また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。 ○獣医学術関東・東京合同地区公衆衛生学会における発表演題「茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について」が地区学会長賞を受賞した。 【実績】学会・研修会等での発表：23回 <table><tr><th>発表題目</th><th>学会・研修会等名</th></tr><tr><td>茨城県におけるマダニのリケッチア保有状況について</td><td>第39回関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr><tr><td>茨城県内におけるノロウイルスGⅡの検出状況(2020/21～2024/25シーズン)</td><td>第39回関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr><tr><td>茨城県で検出されたOXA-48型カルバペネマーゼ産生菌の2事例</td><td>第39回関東甲信静支部細菌研究部会</td></tr><tr><td>茨城県内のイノシシにおけるオズウィルスの伝播について</td><td>日本衛生動物学会</td></tr><tr><td>茨城県における伴侶動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス検査事業について</td><td>茨城県公衆衛生獣医師会</td></tr><tr><td>茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について</td><td>茨城県公衆衛生獣医師会</td></tr><tr><td>2024年度茨城県で発生した食中毒疑い事例におけるふき取り検査のNoV検出状況</td><td>茨城県食品衛生業務業績発表大会</td></tr><tr><td>茨城県における動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染状況</td><td>第168回日本獣医学会</td></tr><tr><td>茨城県で豚から分離された日本脳炎ウイルスの分子系統樹解析</td><td>日本微生物生態学会第38回東京大会</td></tr><tr><td>茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について</td><td>令和7年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会</td></tr><tr><td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)の検出状況について</td><td>第74回日本感染症学会東日本地方会学術集会</td></tr><tr><td>茨城県における動物のSFTSウイルス感染状況</td><td>第7回SFTS研究会</td></tr><tr><td>茨城県で発生した麻しん事例における免疫学的背景の検証</td><td>第84回日本公衆衛生学会総会</td></tr><tr><td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検出状況について</td><td>第84回日本公衆衛生学会総会</td></tr><tr><td>茨城県におけるSFTS保有マダニ種について</td><td>日本衛生動物学会東日本</td></tr><tr><td>観光果樹園で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒事例</td><td>FETP アルムナイリフレッシュメント研修</td></tr><tr><td>茨城県内におけるノロウイルスGⅡの検出状況(2020/21～2024/25シーズン)</td><td>第36回茨城県薬剤師学術大会</td></tr><tr><td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について</td><td>第36回茨城県薬剤師学術大会</td></tr><tr><td>有毒植物による食中毒検査方法の検討―トリカブト、イヌサフラン、スイセン、毒キノコ等―</td><td>第36回茨城県薬剤師学術大会</td></tr><tr><td>原因不明症例におけるNGSを用いたウイルスの網羅的解析</td><td>SATテクノロジー・ショーケース2026</td></tr><tr><td>ヒスタミン等の不揮発性腐敗アミン分析法の検討</td><td>令和7年度保健医療と福祉の事例発表会</td></tr><tr><td>麻しん発生時対応における感染症情報センターの疫学調査支援について</td><td>令和7年度保健医療と福祉の事例発表会</td></tr><tr><td>衛生研究所におけるマダニ媒介感染症の調査研究について</td><td>令和7年度公衆衛生獣医師会</td></tr></table> 【実績】学会誌等への投稿：11本 <table><tr><th>原著論文・機関誌等</th></tr><tr><td>Fulminant Viral Myocarditis Associated with Thogotovirus. N Engl J Med. 2025 Sep 4;393(9):924–926. doi: 10.1056/NEJMc2503343. Shuichi Osawa, Kenji Miyazaki, Sohtaro Mine, Yuichiro Hirata, Norihiko Terada, Masayoshi Ozawa, Kazunori Kikuchi, Atsushi Uchida, Kazuhito Hirose, Yu Imakawa, Keiko Komuro, Noriko Nagata, Sakurako Abe, Yoshiaki Uchida, Tomoko Yanaoka, Seiya Ozono, Tomoki Yoshikawa, Chang-Kweng Lim, Shuetsu Fukushima, Aya Matsuu, Sho Miyamoto, Michiyo Kataoka, Harutaka Katano, Ken Maeda, Hideki Ebihara, Tadaki Suzuki</td></tr><tr><td>Molecular Epidemiology and Seroepidemiology of Oz Virus Infection in Ticks and Wild Boars in Ibaraki Prefecture, Japan. Microorganisms. 2025 Oct 22;13(11):2421. doi: 10.3390/microorganisms13112421. Shuichi Osawa, Hirokazu Kimura, Sakurako Abe, Noriko Nagata, Eri Ueno, Hideki Ebihara, Ryusuke Kimura, Tetsuya Furuya</td></tr><tr><td>Phylogenetic Analyses of RdRp Region and VP1 Gene in Human Norovirus Genotype GII.17[P17] Variants. Microorganisms 28 Mar 2026, 14(4), 770. Fuminori Mizukoshi, Yen Hai Doan, Asumi Hirata-Saito, Hiroyuki Tsukagoshi, Takumi Motoya, Ryusuke Kimura, Tomoko Takahashi, Yuriko Hayashi, Yuki Matsushima, Kei Miyakawa, Naomi Sakon, Kenji Sadamasu, Kazuhisa Yoshimura, Nobuhiro Saruki, Yoshiyuki Suzuki, Masashi Uema, Kosuke Murakami, Kazuhiko Katayama, Akihito Ryo, Tsutomu Kageyama, Hirokazu Kimura</td></tr><tr><td>Collection record of Haemaphysalis cornigera in Ibaraki Prefecture, with notes on changes in the distribution within Japan. Med. Entomol. Zool. Vol. 77 No. 1 p. 1–8 2026 Mizue I, Kentaro I, Toshiya K, Shinji K, 1, Astri Nur F, Kyoko S, Ryo M, Alisa Rose A, Daisuke K, Mamoru W, Sakurako A, Megumi U, Shuichi O, Yukiko H and Haruhiko I-O</td></tr></table>	発表題目	学会・研修会等名	茨城県におけるマダニのリケッチア保有状況について	第39回関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県内におけるノロウイルスGⅡの検出状況(2020/21～2024/25シーズン)	第39回関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県で検出されたOXA-48型カルバペネマーゼ産生菌の2事例	第39回関東甲信静支部細菌研究部会	茨城県内のイノシシにおけるオズウィルスの伝播について	日本衛生動物学会	茨城県における伴侶動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス検査事業について	茨城県公衆衛生獣医師会	茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について	茨城県公衆衛生獣医師会	2024年度茨城県で発生した食中毒疑い事例におけるふき取り検査のNoV検出状況	茨城県食品衛生業務業績発表大会	茨城県における動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染状況	第168回日本獣医学会	茨城県で豚から分離された日本脳炎ウイルスの分子系統樹解析	日本微生物生態学会第38回東京大会	茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について	令和7年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)の検出状況について	第74回日本感染症学会東日本地方会学術集会	茨城県における動物のSFTSウイルス感染状況	第7回SFTS研究会	茨城県で発生した麻しん事例における免疫学的背景の検証	第84回日本公衆衛生学会総会	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検出状況について	第84回日本公衆衛生学会総会	茨城県におけるSFTS保有マダニ種について	日本衛生動物学会東日本	観光果樹園で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒事例	FETP アルムナイリフレッシュメント研修	茨城県内におけるノロウイルスGⅡの検出状況(2020/21～2024/25シーズン)	第36回茨城県薬剤師学術大会	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について	第36回茨城県薬剤師学術大会	有毒植物による食中毒検査方法の検討―トリカブト、イヌサフラン、スイセン、毒キノコ等―	第36回茨城県薬剤師学術大会	原因不明症例におけるNGSを用いたウイルスの網羅的解析	SATテクノロジー・ショーケース2026	ヒスタミン等の不揮発性腐敗アミン分析法の検討	令和7年度保健医療と福祉の事例発表会	麻しん発生時対応における感染症情報センターの疫学調査支援について	令和7年度保健医療と福祉の事例発表会	衛生研究所におけるマダニ媒介感染症の調査研究について	令和7年度公衆衛生獣医師会	原著論文・機関誌等	Fulminant Viral Myocarditis Associated with Thogotovirus. N Engl J Med. 2025 Sep 4;393(9):924–926. doi: 10.1056/NEJMc2503343. Shuichi Osawa, Kenji Miyazaki, Sohtaro Mine, Yuichiro Hirata, Norihiko Terada, Masayoshi Ozawa, Kazunori Kikuchi, Atsushi Uchida, Kazuhito Hirose, Yu Imakawa, Keiko Komuro, Noriko Nagata, Sakurako Abe, Yoshiaki Uchida, Tomoko Yanaoka, Seiya Ozono, Tomoki Yoshikawa, Chang-Kweng Lim, Shuetsu Fukushima, Aya Matsuu, Sho Miyamoto, Michiyo Kataoka, Harutaka Katano, Ken Maeda, Hideki Ebihara, Tadaki Suzuki	Molecular Epidemiology and Seroepidemiology of Oz Virus Infection in Ticks and Wild Boars in Ibaraki Prefecture, Japan. Microorganisms. 2025 Oct 22;13(11):2421. doi: 10.3390/microorganisms13112421. Shuichi Osawa, Hirokazu Kimura, Sakurako Abe, Noriko Nagata, Eri Ueno, Hideki Ebihara, Ryusuke Kimura, Tetsuya Furuya	Phylogenetic Analyses of RdRp Region and VP1 Gene in Human Norovirus Genotype GII.17[P17] Variants. Microorganisms 28 Mar 2026, 14(4), 770. Fuminori Mizukoshi, Yen Hai Doan, Asumi Hirata-Saito, Hiroyuki Tsukagoshi, Takumi Motoya, Ryusuke Kimura, Tomoko Takahashi, Yuriko Hayashi, Yuki Matsushima, Kei Miyakawa, Naomi Sakon, Kenji Sadamasu, Kazuhisa Yoshimura, Nobuhiro Saruki, Yoshiyuki Suzuki, Masashi Uema, Kosuke Murakami, Kazuhiko Katayama, Akihito Ryo, Tsutomu Kageyama, Hirokazu Kimura	Collection record of Haemaphysalis cornigera in Ibaraki Prefecture, with notes on changes in the distribution within Japan. Med. Entomol. Zool. Vol. 77 No. 1 p. 1–8 2026 Mizue I, Kentaro I, Toshiya K, Shinji K, 1, Astri Nur F, Kyoko S, Ryo M, Alisa Rose A, Daisuke K, Mamoru W, Sakurako A, Megumi U, Shuichi O, Yukiko H and Haruhiko I-O	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
発表題目	学会・研修会等名																																																								
茨城県におけるマダニのリケッチア保有状況について	第39回関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																								
茨城県内におけるノロウイルスGⅡの検出状況(2020/21～2024/25シーズン)	第39回関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																								
茨城県で検出されたOXA-48型カルバペネマーゼ産生菌の2事例	第39回関東甲信静支部細菌研究部会																																																								
茨城県内のイノシシにおけるオズウィルスの伝播について	日本衛生動物学会																																																								
茨城県における伴侶動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス検査事業について	茨城県公衆衛生獣医師会																																																								
茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について	茨城県公衆衛生獣医師会																																																								
2024年度茨城県で発生した食中毒疑い事例におけるふき取り検査のNoV検出状況	茨城県食品衛生業務業績発表大会																																																								
茨城県における動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染状況	第168回日本獣医学会																																																								
茨城県で豚から分離された日本脳炎ウイルスの分子系統樹解析	日本微生物生態学会第38回東京大会																																																								
茨城県内の日本紅斑熱好発地域におけるマダニの活動時期および保有する病原体の網羅的解析について	令和7年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会																																																								
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)の検出状況について	第74回日本感染症学会東日本地方会学術集会																																																								
茨城県における動物のSFTSウイルス感染状況	第7回SFTS研究会																																																								
茨城県で発生した麻しん事例における免疫学的背景の検証	第84回日本公衆衛生学会総会																																																								
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検出状況について	第84回日本公衆衛生学会総会																																																								
茨城県におけるSFTS保有マダニ種について	日本衛生動物学会東日本																																																								
観光果樹園で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒事例	FETP アルムナイリフレッシュメント研修																																																								
茨城県内におけるノロウイルスGⅡの検出状況(2020/21～2024/25シーズン)	第36回茨城県薬剤師学術大会																																																								
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について	第36回茨城県薬剤師学術大会																																																								
有毒植物による食中毒検査方法の検討―トリカブト、イヌサフラン、スイセン、毒キノコ等―	第36回茨城県薬剤師学術大会																																																								
原因不明症例におけるNGSを用いたウイルスの網羅的解析	SATテクノロジー・ショーケース2026																																																								
ヒスタミン等の不揮発性腐敗アミン分析法の検討	令和7年度保健医療と福祉の事例発表会																																																								
麻しん発生時対応における感染症情報センターの疫学調査支援について	令和7年度保健医療と福祉の事例発表会																																																								
衛生研究所におけるマダニ媒介感染症の調査研究について	令和7年度公衆衛生獣医師会																																																								
原著論文・機関誌等																																																									
Fulminant Viral Myocarditis Associated with Thogotovirus. N Engl J Med. 2025 Sep 4;393(9):924–926. doi: 10.1056/NEJMc2503343. Shuichi Osawa, Kenji Miyazaki, Sohtaro Mine, Yuichiro Hirata, Norihiko Terada, Masayoshi Ozawa, Kazunori Kikuchi, Atsushi Uchida, Kazuhito Hirose, Yu Imakawa, Keiko Komuro, Noriko Nagata, Sakurako Abe, Yoshiaki Uchida, Tomoko Yanaoka, Seiya Ozono, Tomoki Yoshikawa, Chang-Kweng Lim, Shuetsu Fukushima, Aya Matsuu, Sho Miyamoto, Michiyo Kataoka, Harutaka Katano, Ken Maeda, Hideki Ebihara, Tadaki Suzuki																																																									
Molecular Epidemiology and Seroepidemiology of Oz Virus Infection in Ticks and Wild Boars in Ibaraki Prefecture, Japan. Microorganisms. 2025 Oct 22;13(11):2421. doi: 10.3390/microorganisms13112421. Shuichi Osawa, Hirokazu Kimura, Sakurako Abe, Noriko Nagata, Eri Ueno, Hideki Ebihara, Ryusuke Kimura, Tetsuya Furuya																																																									
Phylogenetic Analyses of RdRp Region and VP1 Gene in Human Norovirus Genotype GII.17[P17] Variants. Microorganisms 28 Mar 2026, 14(4), 770. Fuminori Mizukoshi, Yen Hai Doan, Asumi Hirata-Saito, Hiroyuki Tsukagoshi, Takumi Motoya, Ryusuke Kimura, Tomoko Takahashi, Yuriko Hayashi, Yuki Matsushima, Kei Miyakawa, Naomi Sakon, Kenji Sadamasu, Kazuhisa Yoshimura, Nobuhiro Saruki, Yoshiyuki Suzuki, Masashi Uema, Kosuke Murakami, Kazuhiko Katayama, Akihito Ryo, Tsutomu Kageyama, Hirokazu Kimura																																																									
Collection record of Haemaphysalis cornigera in Ibaraki Prefecture, with notes on changes in the distribution within Japan. Med. Entomol. Zool. Vol. 77 No. 1 p. 1–8 2026 Mizue I, Kentaro I, Toshiya K, Shinji K, 1, Astri Nur F, Kyoko S, Ryo M, Alisa Rose A, Daisuke K, Mamoru W, Sakurako A, Megumi U, Shuichi O, Yukiko H and Haruhiko I-O																																																									

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																		
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																	
		2023 年度・2024 年度風疹予防接種状況および抗体保有状況－感染症流行予測調査 2023 年度（暫定結果）、2024 年度（速報値）： IASR 月報 国立感染症研究所 ウイルス第三部 森 嘉生、茨城県衛生研究所 網川恵里奈 阿部櫻子 他 2025 年 4 月号 茨城県内保育園における腸管出血性大腸菌 O157 による集団感染事例： IASR 月報 宮崎彩子 石川加奈子 高野里美 永田紀子 堀江育子 鈴木優奈 織戸優 小川郁夫 柳岡知子 内田好明 上野絵里 2025 年 5 月号 麻疹の抗体保有状況—2024 年度感染症流行予測調査（暫定結果）： IASR 月報 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 呼吸器系ウイルス研究部 大槻紀之、茨城県衛生研究所 網川恵里奈 阿部櫻子 他 2025 年 7 月号 茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究事業： 令和 7 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 織戸優 2025 年 9 月 茨城県産の豚から分離された日本脳炎ウイルスの解析： 令和 7 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 上野恵 2025 年 9 月 茨城県の観光果樹園（りんご園）で発生した腸管出血性大腸菌 O157 食中毒事例： 公衆衛生情報 石川加奈子 2025 年 9 月 2024 年度感染症流行予測調査におけるインフルエンザ予防接種状況および抗体保有状況(2025 年 9 月現在)： IASR 月報 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 インフルエンザ研究センター 渡邊真治、茨城県衛生研究所 大久保朝香 阿部櫻子 他 2025 年 11 月号 ○調査研究で習得した技術を行政施策で活用した。 ・腸管出血性大腸菌による感染症・食中毒事例発生時に分子疫学解析を行い、原因究明や対策に寄与した。 ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の検出状況を、感染対策の基礎情報として県内医療機関に情報提供し、院内感染対策に寄与した。 ・植物性自然毒による食中毒発生時に有毒成分の調査を行い、原因究明に寄与した。																																			
4） 広報・ 情報発信・ 普及啓発	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 (1) 感染症情報センター ・感染症発生動向調査事業に基づき収集した情報を解析し、週報及び月報として、また衛生研究所の病原体検出情報（月報）をそれぞれホームページに掲載し、情報提供を行った。（アクセス数：週報 371,516 件、月報 6,837 件） ・インフルエンザの流行期間中、「インフルエンザ流行情報」および学級閉鎖等の措置に関する情報を毎週ホームページで提供した。（アクセス数：90,541 件） ・県内の梅毒の報告状況について、四半期および年間のまとめをホームページで情報提供した。（アクセス数：3,144 件） ・過去最多の報告数となった百日咳について、発生動向の掲載およびリーフレットを作成し注意喚起を行った。（アクセス数：24,903 件） ・4 月～5 月にかけてアウトブレイクが発生した麻しんについて、発生状況等迅速な情報提供を行った。（アクセス数：16,120 件） ・令和 7 年度より開始された ARI（急性呼吸器感染症）サーベイランスの概要および病原体検出状況について掲載し情報提供した。（アクセス数：2,324 件） ・8 月に SFTS が県内で初めて報告されたことを受け、ダニ媒介感染症の注意喚起を行った。（アクセス数：12,397 件） ・感染症発生動向調査部会を開催し、県内の感染症発生動向および病原体検出状況について情報還元を行った。 【実績】 ・ホームページ掲載公衆衛生情報：279 回 （主な内訳） <table><tr><td>県民への注意喚起</td><td>62 回</td></tr><tr><td>感染症発生動向調査_月報・週報等</td><td>65 回</td></tr><tr><td>病原体検出情報</td><td>12 回</td></tr><tr><td>インフルエンザ流行情報、学級閉鎖情報</td><td>70 回</td></tr><tr><td>・公式「X」への投稿</td><td>52 回</td></tr><tr><td>・茨城県感染症発生動向調査部会</td><td>2 回</td></tr></table> (2) 県民意識の醸成 (2)-1 県民等への情報発信 ○県民等を対象とした出前講座の開催やホームページへの公衆衛生トピックス掲載等により、保健衛生等に関する最新情報を提供した。（公衆衛生トピックスアクセス数：26,327 件） ○出前講座及び県民向けセミナーで実施したアンケートでは、60%が「非常に参考になった」、38%が「参考になった」との回答であった。（回答者 208 名） 【実績】 ○出前講座：6 回 <table><tr><th>出前講座名</th><th>場所</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>食中毒と予防法について</td><td>ひたちなか市</td><td>44</td></tr><tr><td>感染症の基礎と予防対策について</td><td>日立市</td><td>34</td></tr><tr><td>感染症の基礎と予防対策について</td><td>ひたちなか市</td><td>35</td></tr><tr><td>感染症の基礎と予防対策について</td><td>ひたちなか市</td><td>24</td></tr><tr><td>食中毒と予防法について</td><td>土浦市</td><td>12</td></tr><tr><td>食中毒と予防法について</td><td>古河市</td><td>45</td></tr></table>	県民への注意喚起	62 回	感染症発生動向調査_月報・週報等	65 回	病原体検出情報	12 回	インフルエンザ流行情報、学級閉鎖情報	70 回	・公式「X」への投稿	52 回	・茨城県感染症発生動向調査部会	2 回	出前講座名	場所	参加者数	食中毒と予防法について	ひたちなか市	44	感染症の基礎と予防対策について	日立市	34	感染症の基礎と予防対策について	ひたちなか市	35	感染症の基礎と予防対策について	ひたちなか市	24	食中毒と予防法について	土浦市	12	食中毒と予防法について	古河市	45	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
県民への注意喚起	62 回																																				
感染症発生動向調査_月報・週報等	65 回																																				
病原体検出情報	12 回																																				
インフルエンザ流行情報、学級閉鎖情報	70 回																																				
・公式「X」への投稿	52 回																																				
・茨城県感染症発生動向調査部会	2 回																																				
出前講座名	場所	参加者数																																			
食中毒と予防法について	ひたちなか市	44																																			
感染症の基礎と予防対策について	日立市	34																																			
感染症の基礎と予防対策について	ひたちなか市	35																																			
感染症の基礎と予防対策について	ひたちなか市	24																																			
食中毒と予防法について	土浦市	12																																			
食中毒と予防法について	古河市	45																																			

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価			
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項		
		○県民向けセミナー：1 回					
		セミナー名		場所			参加者数
		薬の効かない菌のはなし		水戸市			70
		○パネル展示：2 回					
		日付		タイトル			展示場所
		7 月 28 日～8 月 29 日		茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究事業			・ 県庁 2 階県政広報コーナー
				茨城県産の豚から分離された日本脳炎ウイルスの解析			・ 県庁 25 階
		○ホームページ掲載：7 回					
		日 付		タイトル			
		8 月		カンピロバクターによる食中毒に注意しましょう			
		10 月		THC が含まれる大麻由来製品に注意しましょう			
		11 月		薬剤耐性菌を知っていますか？ 家族の誰かがノロウイルスに感染！そのときどうする？			
		1 月		はしか（麻疹）に注意しましょう 理化学検査に使用する分析機器のご紹介			
		2 月		茨城県衛生研究所における薬剤耐性菌の検査状況について（2025 年）			
		○茨城県衛生研究所年報第 63 号、茨城県感染症発生動向調査事業年報（2024 年）及び茨城の結核統計 2024 を作成し、ホームページへ掲載した。					
【実績】 3 回							
(2)-2 薬剤耐性対策の推進 ○県民等を対象に普及啓発事業を実施し、本県における薬剤耐性対策を推進した。							
○県民向けセミナーで実施したアンケートでは、60%が「非常に参考になった」、40%が「参考になった」との回答であった。（回答者 58 名）							
【実績】 普及啓発活動：11 件/年							
日付		普及啓発活動					
5～7 月		啓発資材（等身大パネル）の作成					
8 月・10 月		いばらきネットモニターアンケートの実施・結果公表（回答者：1,202 名）					
10 月		普及啓発チラシの作成					
11 月		県広報誌「ひばり」11 月号への情報掲載					
		県民向けセミナーの開催（県立図書館 2 階視聴覚ホール）（参加者数：70 人）					
		茨城放送ラジオ番組による情報発信（3 回）					
		パネル展示等（県庁 2 階県政広報コーナー等）					
		ギャラリー展示（県立図書館 1 階ギャラリー）					
		啓発動画放映（県内イオンモール 2 店舗）					
		SNS（県 X、保健医療部 X、衛生研究所 X）およびホームページによる情報発信					
3 月		パンフレット「子どもの救急ってどんなとき？」へのコラム掲載					
通年		普及啓発チラシ追加配布（配布部数：1,600 部）					
5） 外部人材 育成、教育 活動	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現			A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現	
		○年間を通し県の新任感染症担当者向け研修を県庁主管課とともに実施した。また、県内医療機関が主催する地域医療連携会議へ出席し、県内の感染症流行情報の提供や注意喚起を行った。					
		○学生等への教育活動において実施したアンケートでは、80%が「非常に参考になった」、20%が「参考になった」との回答であった。（回答者 25 名）					
		【実績】 保健所等への専門的・技術的研修会：32 回					
		研修会・講座名		対象者等			参加者数
		令和7年度第1回 感染症対策に関する新任担当者研修会（感染症発生動向調査事業）		保健所等新規感染症担当者			22 人
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング		保健所及び県庁主管課職員			20 人程度
		福祉施設等における感染症対応力の向上に向けた web 研修会（第1回）		県内福祉施設等職員			253 人
		令和7年度第2回 感染症対策に関する新任担当者研修会（疫学調査、アウトブレイク調査等）		保健所等新規感染症担当者			21 人
		令和7年度ゆうパックにより検体を送付するための研修会		保健所担当職員、衛生研究所職員			14 人
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング		保健所及び県庁主管課職員			20 人程度
		次世代シナジー技術研修		筑波大学感染症内科学 教授			1 人
		令和7年度新規採用養護教諭研修会		新規採用養護教諭			33 人
		令和7年度第3回 感染症対策に関する新任担当者研修会（麻疹）		保健所等新規感染症担当者			16 人

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項
		筑西保健所管内院内感染対策ネットワーク 意見交換会（第1回）	筑西保健所管内医療機関、筑西保健所担当者	17 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		筑西保健所管内院内感染対策ネットワーク会議	筑西保健所管内医療機関、筑西保健所担当者	45 人	
		令和7年度第1回茨城県感染症対策連携協議会感染症対策部会	感染症対策部会委員、事務局、保健所担当者等	9 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		つくば保健所 感染症対策研修会（児童福祉施設担当者向け）	つくば保健所管内児童福祉施設職員	35 人	
		令和7年度ゆうバックにより検体を送付するための研修会	県内医療機関・衛生検査所の検体搬送業務担当者、保健所担当職員、衛生研究所職員	39 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		医療機関における感染症基礎力の向上に向けた Web 研修会（第1回）	県内医療機関職員等	206 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		福祉施設等における感染症対応力の向上に向けた web 研修会（第2回）	県内福祉施設等職員	302 人	
		令和7年度第6回 感染症対策に関する新任担当者研修会（薬剤耐性菌）	保健所等新規感染症担当者	24 人	
		中央保健所 感染症対策研修会（高齢者福祉施設・障害者福祉施設担当者向け）	中央保健所管内高齢・障害福祉施設職員	46 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		令和7年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議	エイズ拠点病院関係者等	18 人	
		地方衛生研究所全国協議会 MALDI-TOF MS ワーキンググループ令和7年度ミニシンポジウム	地方衛生研究所全国協議会会員	250 人程度	
		医療機関における感染症基礎力の向上に向けた Web 研修会（第2回）	県内医療機関職員等	185 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		福祉施設等における感染症対応力の向上に向けた web 研修会（第3回）	県内福祉施設等職員	190 人	
		動物愛護協議会主催セミナー	動物愛護協議会会員等	21 人	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
		保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング	保健所及び県庁主管課職員	20 人程度	
	【実績】医療機関が主催する地域医療連携会議での情報提供：5 回				
		研修会・講座名	対象者等	参加者	
		令和7年度第1回 土浦保健所管内 感染対策地域連携会議	土浦保健所管内医療機関	54 機関	
		令和7年度第2回 土浦保健所管内 感染対策地域連携会議	土浦保健所管内医療機関	42 機関	
		令和7年度第3回 土浦保健所管内 感染対策地域連携会議	土浦保健所管内医療機関	52 機関	
		令和7年度第4回 土浦保健所管内 感染対策地域連携会議	土浦保健所管内医療機関	25 機関	
		令和7年度第4回 日立総合病院感染対策向上加算における地域医療連携カンファレンス	日立保健所管内医療機関関係者	81 名	
	【実績】学生等への教育活動：13 回				
		研修会・講義名	対象者等	参加者数	
		公務員獣医師希望者の職場見学	帯広畜産大学 卒業生	1 人	
		研修医の公衆衛生実習	霞ヶ浦医療センター 研修医	1 人	
		筑波大学医学群医学類4年生の社会医学研修	筑波大学医学群医学類 4 年生	13 人	
		職場体験学習	茨城町立青葉中学校 2 年生	1 人	
		東邦大学薬学部職場見学会・就業体験会	東邦大学薬学部 4 年生	4 人	
		茨城県庁インターンシップ（薬剤師職）の職場研修	国際医療福祉大学、東北医科薬科大学、徳島大学、富山大学	4 人	
		茨城県庁インターンシップ（薬剤師職）の職場研修	日本大学、東邦大学、慶応義塾大学	3 人	
		筑波大学附属病院実地修練生公衆衛生実習	筑波大学附属病院実地修練生	2 人	
		令和7年度茨城県医療部新規採用職員研修（現地研修）	令和7年度茨城県保健医療部新規採用職員	7 人	
		独協医科大学医学部5年生の地域保健実習	独協医科大学医学部 5 年生	4 人	
		公務員獣医師希望者の職場見学	北里大学 5 年生	1 人	
		公務員獣医師希望者の職場見学	岡山理科大学 卒業生	1 人	
		公務員獣医師希望者の職場見学	北里大学 4 年生	1 人	

評価項目 (年度実施計画)		衛生研究所の自己評価			評価委員会評価																																												
		評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項																																											
ii) 業務の質的向上・効率化のための実施する方策	1) 全体マネジメント	A	○質・量の両面において概ね令和7年度計画を達成 (1) 「健康危機対処計画」に基づく体制の整備及び実践型訓練の実施 ○健康危機対処計画に基づく体制の整備 ・中東呼吸器症候群（MERS）の県内発生を想定し、健康危機対処計画に基づく実践型訓練を実施し、課題点などの確認を行った。 (2) 検査機器の整備等 ○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。また、効率的に機器の更新を行うため、機器の管理方法を見直した。 ・アスピレーター、超遠心機用アングルローター、フルオロメーター、冷凍機能付きインキュベーター、バイオメディカルフリーザー、デジタルカメラ付生物顕微鏡、器具乾燥機、高速液体クロマトグラフタンデム四重極型質量分析計（リース）等 (3) 品質保証体制の整備 ○医薬品 PIC/S に係る体制の整備 ・試験検査 SOP（バルサルタン錠定量試験、アプリンジン塩酸塩カプセル溶出試験、ニセルゴリン錠溶出試験）を追加制定した。 ・ピオグリタゾン塩酸塩錠溶出試験 SOP、アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠定量試験 SOP、アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠崩壊試験 SOP 及びバルサルタン錠定量試験 SOP を改定した。 ・本庁（薬務課）による公的認定試験検査機関の要件確認のための定期監査を受けた。 ○食品 GLP に係る検査体制の整備 ・信頼性保証部門（生活衛生課）による内部点検を受けた。 (4) 病原体等の安全管理の確保 ・病原体安全管理委員会を2回開催した。 ・所内安全管理教育訓練講習会を開催した。 ・内部査察を実施し、結果を委員会で報告した。 ・毒劇物管理の内部点検を実施し、結果を所長に報告した。 (5) 業務の進捗状況管理、情報共有及び評価委員会による評価 ア 業務の進捗状況管理、情報共有について ・月2回開催する所内定例部長会議や、随時行う各部内ミーティングで情報共有し、業務等の進捗管理を行った。 ・月2回、4部合同の感染症ミーティングを行い、感染症及び食中毒に係る情報共有・意見交換を行った。 イ 評価委員会による評価について ・外部評価及び第4期中期運営計画における事前評価を受けるため、評価委員会を2回開催した。 ・評価委員会における評価指摘事項をもとに、業務の見直し改善を行った。 ・調査研究では、新規課題4題について事前評価、継続課題2題について中間評価を受け、調査研究事業計画の見直し等に反映させた。 ・第4期中期運営計画骨子案や計画案における事前評価を受け、本文へ意見を反映させた。 (6) 感染症情報センターの機能強化 ・県内で発生した感染症（全数届出・集団発生事例）の積極的疫学調査の結果を当所に集約するR6年度からの新体制に引き続き対応し、保健所の疫学調査支援ならびに情報の解析・提供を行った。また必要に応じて現地調査支援を行った。			A	○質・量の両面において概ね令和7年度計画を達成																																										
	2) 他機関との連携、調査研究費の獲得	A	○質・量の両面において概ね令和7年度計画を達成 調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化を行った。 ○調査研究に係る研究機関等との連携 筑波大学や国立感染症研究所等との共同研究6題、研究協力7題を行った。 <table><tr><th>研究区分</th><th>研究テーマ（研究代表者等）</th><th>連携機関</th><th>期間（年度）</th><th>担当部</th></tr><tr><td rowspan="6">共同研究</td><td>茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する研究（茨城県衛生研究所 織戸優）</td><td>国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院 茨城西南医療センター病院 水戸赤十字病院</td><td>R1～R8</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明（茨城県衛生研究所 大澤修一）</td><td>筑波大学医学医療系臨床医学域感染症内科学（喜安嘉彦）</td><td>R2～R7</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>茨城県内におけるマダニの分布状況等の実態解明（茨城県衛生研究所 大澤修一）</td><td>国立感染症研究所（葛西真治）</td><td>R5～R8</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>動物由来感染症の網羅的解析（茨城県衛生研究所 大澤修一）</td><td>国立感染症研究所（前田健）</td><td>R5～R9</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>茨城県におけるマダニ生息状況とマダニ媒介感染症の調査研究（茨城県衛生研究所 大澤修一）</td><td>国立研究開発法人森林研究・整備機構 筑波大学</td><td>R5～R7</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>茨城県内におけるマダニの分布状況の実態解明に関する研究（茨城県衛生研究所 大澤修一）</td><td>茨城大学理学部 基礎自然科学野</td><td>R7～R10</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td rowspan="3">研究協力</td><td>多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究（猿木信裕）</td><td>群馬県衛生環境研究所</td><td>R4～R7</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>RSウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因の解明に関する開発研究</td><td>国立感染症研究所</td><td>R4～R7</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業</td><td>国立感染症研究所（海老原秀喜）</td><td>R4～R7</td><td>ウイルス部</td></tr></table>			研究区分	研究テーマ（研究代表者等）	連携機関	期間（年度）	担当部	共同研究	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する研究（茨城県衛生研究所 織戸優）	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院 茨城西南医療センター病院 水戸赤十字病院	R1～R8	細菌部	茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明（茨城県衛生研究所 大澤修一）	筑波大学医学医療系臨床医学域感染症内科学（喜安嘉彦）	R2～R7	ウイルス部	茨城県内におけるマダニの分布状況等の実態解明（茨城県衛生研究所 大澤修一）	国立感染症研究所（葛西真治）	R5～R8	ウイルス部	動物由来感染症の網羅的解析（茨城県衛生研究所 大澤修一）	国立感染症研究所（前田健）	R5～R9	ウイルス部	茨城県におけるマダニ生息状況とマダニ媒介感染症の調査研究（茨城県衛生研究所 大澤修一）	国立研究開発法人森林研究・整備機構 筑波大学	R5～R7	ウイルス部	茨城県内におけるマダニの分布状況の実態解明に関する研究（茨城県衛生研究所 大澤修一）	茨城大学理学部 基礎自然科学野	R7～R10	ウイルス部	研究協力	多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究（猿木信裕）	群馬県衛生環境研究所	R4～R7	ウイルス部	RSウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因の解明に関する開発研究	国立感染症研究所	R4～R7	ウイルス部	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	国立感染症研究所（海老原秀喜）	R4～R7	ウイルス部	A
研究区分	研究テーマ（研究代表者等）	連携機関	期間（年度）	担当部																																													
共同研究	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する研究（茨城県衛生研究所 織戸優）	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院 茨城西南医療センター病院 水戸赤十字病院	R1～R8	細菌部																																													
	茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明（茨城県衛生研究所 大澤修一）	筑波大学医学医療系臨床医学域感染症内科学（喜安嘉彦）	R2～R7	ウイルス部																																													
	茨城県内におけるマダニの分布状況等の実態解明（茨城県衛生研究所 大澤修一）	国立感染症研究所（葛西真治）	R5～R8	ウイルス部																																													
	動物由来感染症の網羅的解析（茨城県衛生研究所 大澤修一）	国立感染症研究所（前田健）	R5～R9	ウイルス部																																													
	茨城県におけるマダニ生息状況とマダニ媒介感染症の調査研究（茨城県衛生研究所 大澤修一）	国立研究開発法人森林研究・整備機構 筑波大学	R5～R7	ウイルス部																																													
	茨城県内におけるマダニの分布状況の実態解明に関する研究（茨城県衛生研究所 大澤修一）	茨城大学理学部 基礎自然科学野	R7～R10	ウイルス部																																													
研究協力	多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究（猿木信裕）	群馬県衛生環境研究所	R4～R7	ウイルス部																																													
	RSウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因の解明に関する開発研究	国立感染症研究所	R4～R7	ウイルス部																																													
	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	国立感染症研究所（海老原秀喜）	R4～R7	ウイルス部																																													

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価					評価委員会評価																					
	評価	計画達成の状況				評価	評価における特記事項																				
		<table><tr><td>新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下痢症ウイルス感染症の疫学調査と流行制御に向けた基礎的研究</td><td>国立感染症研究所</td><td>R6～R11</td><td>ウイルス部</td></tr><tr><td>環境中における薬剤耐性微生物及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究</td><td>金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学（金森肇）</td><td>R6～R8</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究</td><td>国立健康危機管理研究機構（国立感染症研究所）（鈴木里和）</td><td>R6～R8</td><td>細菌部</td></tr><tr><td>腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症等の病原体に関する解析手法及び共有化システム構築のための研究</td><td>国立健康危機管理研究機構（国立感染症研究所）（泉谷秀昌）</td><td>R7～R8</td><td>細菌部</td></tr></table>	新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築				下痢症ウイルス感染症の疫学調査と流行制御に向けた基礎的研究	国立感染症研究所	R6～R11	ウイルス部	環境中における薬剤耐性微生物及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学（金森肇）	R6～R8	細菌部	薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立健康危機管理研究機構（国立感染症研究所）（鈴木里和）	R6～R8	細菌部	腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症等の病原体に関する解析手法及び共有化システム構築のための研究	国立健康危機管理研究機構（国立感染症研究所）（泉谷秀昌）	R7～R8	細菌部					
	新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築																										
下痢症ウイルス感染症の疫学調査と流行制御に向けた基礎的研究	国立感染症研究所	R6～R11	ウイルス部																								
環境中における薬剤耐性微生物及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学（金森肇）	R6～R8	細菌部																								
薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立健康危機管理研究機構（国立感染症研究所）（鈴木里和）	R6～R8	細菌部																								
腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症等の病原体に関する解析手法及び共有化システム構築のための研究	国立健康危機管理研究機構（国立感染症研究所）（泉谷秀昌）	R7～R8	細菌部																								
		○地方衛生研究所間の連携 - 健康危機発生時相互応援協定による窓口担当者の確認、専門家リストを作成した。 - 地方衛生研究所全国協議会（ウイルス部会、細菌部会、理化学部会、公衆衛生情報研究部会）に参加した。 - 衛生微生物技術協議会に参加した。 - 衛生理化学分野研修会に参加した。 - 各自治体からの照会、アンケート調査等に協力した。 ○県内の県立試験研究機関等との連携 茨城県総合健診協会シルバーリハビリ体操推進センター、中央保健所、精神保健福祉センター及び水戸市保健所と合同で業績発表会を開催した。（参加者 83 名） - シルバーリハビリ体操推進センター 1 題 - 中央保健所 4 題 - 精神保健福祉センター 1 題 - 水戸市保健所 2 題 - 衛生研究所 9 題 ○外部資金（特別電源所在県科学技術振興事業補助金（以下「特電補助金」とする））を活用中の事業 - 調査研究事業（継続） 3 事業 - 機器整備事業 1 事業 ○外部資金以外の調査研究事業 - 調査研究事業（継続） 2 事業 - 調査研究事業（新規） 2 事業 ○令和 8 年度外部資金獲得状況 - 特電補助金 調査研究事業 2 事業 - 特電補助金 機器整備事業 1 事業 - 大下財団研究助成 1 事業																									
3） 県民ニーズの把握	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 - 茨城県感染症対策連携協議会薬剤耐性対策部会の委員と、本県の薬剤耐性（AMR）対策の取組について協議した。また、いばらきネットモニターアンケートを活用し、1,202 名から回答を得て、県民ニーズを把握した。 - 茨城県感染症対策連携協議会感染症発生動向調査部会の委員と、県内の感染症の発生動向の共有および事業の運用等に関する協議を行った。 - いばらき予防医学プラザ（茨城県総合健診協会シルバーリハビリ体操推進センター、中央保健所、精神保健福祉センター及び衛生研究所）及び水戸市保健所による業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と情報交換を行った。 - 保健所、衛生研究所及び県庁主管課と県内の感染症事案対応や流行情報について情報共有や意見交換を行った。 - 出前講座や主催した薬剤耐性対策セミナーでアンケート調査を実施した。（回答者 233 名） 【実績】 ○関係機関等との意見交換会の実施：22 回（再掲） - 茨城県感染症対策連携協議会薬剤耐性対策部会：2 回 - 茨城県感染症対策連携協議会感染症発生動向調査部会：2 回 - 業績発表会：1 回（参加者 83 名） - 保健所・衛研・疾病対策課感染症 Web ミーティング：11 回 - 感染症対策向上加算に基づく感染対策地域連携会議：4 回 - 院内感染ネットワーク会議：2 回 ○出前講座等の実施：7 回（再掲） - 出前講座：6 回（参加者 194 名） - 県民向けセミナー：1 回（参加者 70 名） ○ニーズへの主な対応 - 県内の中学校から職場体験学習の依頼があり、生徒 1 名を受け入れた。 - いばらきネットモニターアンケート「抗菌薬等に関する意識調査」における意見を、次年度の薬剤耐性対策普及啓発の取組みに反映させた。 - 医療機関からの要望に応え、百日咳の遺伝子検査及びマクロライド耐性遺伝子検査を整備し R7 年 8 月より検査対応を開始した。 - 医療機関から ARI 病原体サーベイランスの採取検体について要望を受け、はなかみ液を検査検体として追加した。 - 保健所における管内医療機関の AMR 対策を目的としたネットワーク会議の立ち上げ時の要望により、発生動向をまとめ、情報提供した。 - 県庁主管課の依頼により、医療機関向け研修会にてテーマにそった感染症情報を提供した。 - 評価委員会において衛生研究所で実施可能な検査一覧の作成について要望があったため、感染症事務マニュアル内の「検査依頼に係る検体リスト（疾患別）」を新たに作成し直し、保健所へ提供した。					A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																			

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																															
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																														
4) 内部人材 育成	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 (1) 研修・交流機会の確保 各技術研修会や学会等に、積極的に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、職場全体の資質を向上させた。 (主な研修会) ○ 技術研修 サーモフィッシャー研修、厚労省ゆうバック研修、インフルエンザセミナー、地衛研基礎研修、パイオセーフティー研修、ウイルス研修、ウイルス培養研修、食品微生物技術研修会、ゲノム解析研修、薬剤耐性菌研修、食品微生物学会技術セミナー、GMP 調査員実地研修、残留農薬分析セミナー、指定薬物分析研修会、大麻分析研修会、LCMSMS 操作研修（延べ 26 人参加） ○ 学会 日本衛生動物学会、日本感染症学会、日本医学検査学会、SADI、日本獣医学会、日本微生物生体学会、茨城県公衆衛生獣医師協議会、関東東京合同地区獣医 3 学会、日本食品微生物学会、日本臨床ウイルス学会、日本食品衛生学会、全国食品衛生監視員研修会、日本感染症学会（東日本）、日本公衆衛生学会、日本ウイルス学会、日本衛生動物学会（東日本）、茨城県薬剤師学術大会、日本臨床微生物学会、S A T テクノロジー・ショーケース、日本中毒学会、農薬残留分析研究会シンポジウム（延べ 35 人参加） ○ 地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部各研究部会（細菌研究部会、ウイルス研究部会、理化学研究部会、公衆衛生情報研究部会）、衛生微生物技術協議会、全国衛生化学技術協議会（延べ 17 人参加） (修学) ○ 令和 6 年度より大学院博士課程に所員 1 名を進学させ、博士号取得に向け取り組んでいる。 (2) 所内研修及び伝達講習 外部専門家による研修会など、所内研修会を 4 回実施した他、所内各部で内部研修を実施し、研鑽を図った。 若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通した実務研修(OJT)を実施した。また、研修会・学会等の参加者が伝達講習を行い、情報共有した。 【所内研修会実績】 ○業績発表会 1 回（演題数：17） ○外部専門家を招聘した研修会 1 回 ・「次なる感染症への備え」について 川崎市健康安全研究所 参与 岡部 信彦 先生 ○外部専門家による Web 研修会 1 回 ・「疑わしい研究実践に陥らないために」 慶応義塾大学 平石界先生 他 2 名 ○安全管理教育訓練講習 1 回 ・「実験操作におけるバイオセーフティー」 (所内講師) ○ウイルス研修伝達講習 1 回 (所内講師) ○感染症危機管理研修会(web) 3 回 (国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所) (3) 精度管理事業の実施及び参加 結果はすべて適合 (外部精度管理) <table><tr><th>参加した精度管理</th><th>検査項目</th><th>検体数</th></tr><tr><td rowspan="3">厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業</td><td>腸管出血性大腸菌 (VT 遺伝子検査、MLVA 検査)</td><td>4</td></tr><tr><td>麻しん、風しんウイルスの遺伝子解析</td><td>2</td></tr><tr><td>SARS-CoV-2 の次世代シーケンシングによる ゲノム解析</td><td>2</td></tr><tr><td>国立健康危機管理研究機構が実施するウイルス分離培養・同定技術の実態調査 (iTips)</td><td>インフルエンザウイルスの検査</td><td>5</td></tr><tr><td>令和 7 年度厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業 R7 年度レジオネラ属菌検査外部精度管理 (2025 年度 UKHSA レジオネラ Isolation 精度管理プログラム)</td><td>レジオネラ属菌</td><td>2</td></tr><tr><td>一般財団法人食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査</td><td>E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、腸内細菌科菌群</td><td>11</td></tr><tr><td>厚生労働科学研究（新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業） 「食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究」</td><td>腸管出血性大腸菌 (PFGE 検査、MLVA 検査)</td><td>5</td></tr><tr><td rowspan="2">令和 7 年度厚労科研費 「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なネットワークの強化に関する研究」 分担研究「抗酸菌型別分析における精度保証」</td><td>結核菌 (VNTR 検査)</td><td>6</td></tr><tr><td>結核菌 (全ゲノム解析)</td><td>13</td></tr><tr><td>一般社団法人日本医療検査科学会 遺伝子・プロテオミクス委員会 第 4 回 MALDI-TOF MS による細菌同定の外部精度管理調査</td><td>Candida auris Enterococcus faecium Haemophilus influenzae</td><td>3</td></tr></table>	参加した精度管理	検査項目	検体数	厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業	腸管出血性大腸菌 (VT 遺伝子検査、MLVA 検査)	4	麻しん、風しんウイルスの遺伝子解析	2	SARS-CoV-2 の次世代シーケンシングによる ゲノム解析	2	国立健康危機管理研究機構が実施するウイルス分離培養・同定技術の実態調査 (iTips)	インフルエンザウイルスの検査	5	令和 7 年度厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業 R7 年度レジオネラ属菌検査外部精度管理 (2025 年度 UKHSA レジオネラ Isolation 精度管理プログラム)	レジオネラ属菌	2	一般財団法人食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査	E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、腸内細菌科菌群	11	厚生労働科学研究（新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業） 「食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究」	腸管出血性大腸菌 (PFGE 検査、MLVA 検査)	5	令和 7 年度厚労科研費 「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なネットワークの強化に関する研究」 分担研究「抗酸菌型別分析における精度保証」	結核菌 (VNTR 検査)	6	結核菌 (全ゲノム解析)	13	一般社団法人日本医療検査科学会 遺伝子・プロテオミクス委員会 第 4 回 MALDI-TOF MS による細菌同定の外部精度管理調査	Candida auris Enterococcus faecium Haemophilus influenzae	3	A A	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
参加した精度管理	検査項目	検体数																																
厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業	腸管出血性大腸菌 (VT 遺伝子検査、MLVA 検査)	4																																
	麻しん、風しんウイルスの遺伝子解析	2																																
	SARS-CoV-2 の次世代シーケンシングによる ゲノム解析	2																																
国立健康危機管理研究機構が実施するウイルス分離培養・同定技術の実態調査 (iTips)	インフルエンザウイルスの検査	5																																
令和 7 年度厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業 R7 年度レジオネラ属菌検査外部精度管理 (2025 年度 UKHSA レジオネラ Isolation 精度管理プログラム)	レジオネラ属菌	2																																
一般財団法人食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査	E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、腸内細菌科菌群	11																																
厚生労働科学研究（新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業） 「食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究」	腸管出血性大腸菌 (PFGE 検査、MLVA 検査)	5																																
令和 7 年度厚労科研費 「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なネットワークの強化に関する研究」 分担研究「抗酸菌型別分析における精度保証」	結核菌 (VNTR 検査)	6																																
	結核菌 (全ゲノム解析)	13																																
一般社団法人日本医療検査科学会 遺伝子・プロテオミクス委員会 第 4 回 MALDI-TOF MS による細菌同定の外部精度管理調査	Candida auris Enterococcus faecium Haemophilus influenzae	3																																

評価項目 (年度実施計画)		衛生研究所の自己評価				評価委員会評価	
		評価	計画達成の状況			評価	評価における特記事項
			一般財団法人食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査	残留農薬 定量 (クロルピリホス、フェニトロチオン)	1		
				添加物（ソルビン酸） 定量	1		
			厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業	医薬品（定量法、純度試験）	1		
			地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理事業（模擬訓練）	銅（定性及び定量）	1		
			国立医薬品食品衛生研究所が実施する令和7年遺伝子組換え食品検査の外部精度管理調査	安全性未審査の遺伝子組換えコムギ	1		
			(内部精度管理) 試験検査前に、随時実施した。				